

事業計画書

事業名	地域文化育成普及事業
実施箇所	多津衛民芸館
実施期間	事業開始予定年月日 平成26年6月1日
	事業終了予定年月日 平成27年3月20日
事業概要	<p><事業の目的> 日常使う陶磁器や木工品・布などの中に美を見出し、人々の暮らしの豊かさを求めた民芸運動は、信州でも大きな広がりを見せたが、佐久市出身の教師小林多津衛はその運動の中心的な一人であった。このたび、小林多津衛が佐久の先人として顕彰されたのを機に、改めて多津衛のめざしたものが佐久地域に広がることを願い、多津衛民芸館の事業がさらに発展することを期してこの事業を企画した。佐久地区で活躍する工芸家や音楽家を広く紹介する機会を作り、また、工芸を学びたい人に、その機会を提供し、発行する冊子には多津衛が願った民芸の心や関連する研究を記載し、本当に豊かな暮らしとは何かを広げていきたい。</p>
	<p><事業の内容> ①地元工芸家や、県内工芸家の作品を展示する作品展示会開催、6月（出品者2人）・8月（5人）・11月（20人）来場者多数 ②地元音楽家のコンサート開催、6月（出演者3人）・9月（2人）・12月（1人）来場者はいずれも70～90人程度 ③地域の文化や暮らしなどを取り上げた冊子の発行、7月（60ページ） ④小林多津衛の顕彰や地域づくりなどに関する講演会学習会の開催、8月・11月（参加者は5～60人程度） 会場、発行元はいずれも多津衛民芸館</p>
	<p><事業の効果・アピールポイント> 信濃毎日新聞、佐久市民新聞、週刊さくだいら、FMさくだいら、佐久ケーブルテレビなどを通じて、これらの事業について報道を依頼し、広く市民に参加を呼び掛け、多津衛のめざした民芸運動が佐久地域にさらに広がる1年とする。佐久地域に暮らす工芸家や音楽家を広く地域に紹介することによって、佐久地域の文化向上に寄与する。この事業を発展させ、工芸家音楽家のつながりを深め、連携組織を作る。地域から羽ばたいて、県内や全国で活躍できるような人々が誕生することを期待する。地域の暮らしや職人の研究、佐久地域での民藝運動などに関する文を載せた冊子を発行し、地域文化の大切さを普及する。地域づくりなどに関する講演会を開催し、新たな展望を考える機会を提供する。</p>
	<p><事業における市の役割分担> 事業実施についての助言をいただきたい。事業の広報に協力してほしい。また、事業実施後、広報誌などで報道してほしい。</p>